

やすらぎ短信

平成28年
11月号

十一月十五日

七五三参り



来る十一月十五日は、子どもの成長の節目を祝う七五三参りが行われます。七五三の由来については、左記の儀式がもとになっております。

男女の三歳 「髪置（かみおき）」の儀
頭髪を伸ばしはじめる儀式

男子の五歳 「袴着（はかまぎ）」の儀
初めて袴を着用する儀式

女子の七歳 「帯解（おびとき）」の儀
幼児用の着物の紐を解き、大人用の帯を用いる儀式

七・五・三の歳の数については、奇数（陽数）が縁起がよいとされた、大陸からの思想に由来します。

浦幌神社七五三参りのご案内



平成二十八年の該当者（数え年）

男の子 平成二十六年生 三歳

平成二十四年生 五歳

女の子 平成二十六年生 三歳

平成二十二年生 七歳

※満年齢でも可

日時 十一月十三日（日）

十一月十五日（火）

午前十一時・午後二時

●この日以外をご希望される場合は、ご予約にてご奉仕致します。

●ご祈願を受けられた方には、お守り・絵馬・千歳飴を授与致します。

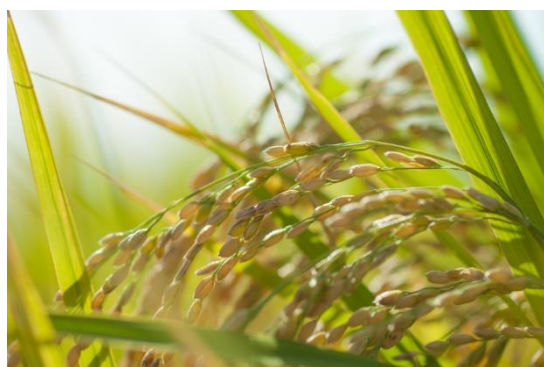
●玉串料三千円よりお気持ち

（電話）〇一五―五七六―二四四八

十一月二十三日

新嘗祭（にいなめさい）

十一月二十三日、宮中の神嘉殿（しんかでん）で新嘗祭が斎行されます。このお祭りは、天皇陛下が国民を代表されて天照皇大神をはじめ、天地の神々に新穀や新酒をお供えし、御自らも親しくこれをお食される儀式で、宮中の中で最も重要な祭儀の一つです。このお祭りの最も古い記録は日本書紀にあり、今から千四百年以上も前から重要なお祭りであったことが伺えます。浦幌神社でもこの日に収穫勤労感謝祭が行われ、各産業関係者約六十名が一同に参集し、地元で収穫されたものを浦幌町内各神社の神々にお供えし、収穫の感謝の祈りを捧げます。



宮司の一筆

祈りの後ろ姿

子は親の背中を見て育つと聞きくと、いつも「背中を正さなければ」と反省する私ですが、それと同時に父や祖父の背中をふと思ひ出します。亡くなってもなお色々ことを教えてくれています。

近年は核家族化などにより、昔ながらの日本人の生活様式が変化し、ご先祖から伝わる大切な教えが薄れつつあります。家庭が崩壊し、痛ましい事件が起こる度に心が痛みます。日本人は日々、神様やご先祖様へ感謝をし、家族皆の幸せを祈ることを大切にしてきました。祖父母や父母の祈る後ろ姿に習い、子や孫もその心を養ってきました。しかし、残念なことに神棚やご先祖様をまつるご家庭も減少しつつあるようです。

ご家庭での祈りの場合は、ご家庭の芯(しん)を養います。芯があれば家庭は崩れません。次世代へ「祈り」の精神を伝えてゆくことも大切な課題です。

ポンプ車清祓が十勝毎日新聞に掲載

去る九月

二十二日に
ご奉仕致し
ました消防

車(ポンプ
車)の清祓

式並びに交

通安全祈願

祭の様子が
十月一日の
十勝毎日新

聞に掲載されました。これからも浦幌町民の安全のためにご活躍下さいますようお願い申し上げます。



浦幌神社行事予定

- 十一月一日 月次祭
- 十一月十五日 月次祭
- 十一月十五日 七五三参り
- 十一月二十日 鳥獣魂慰霊祭
- 十一月二十三日 新嘗祭並びに
収穫勤労感謝祭

御創祀百二十年祭北海道新聞に掲載

去る九月二十日に斎行致しました浦

幌神社御創祀百二十年奉祝祭並びに秋
季例大祭の

様子が十月
五日の北海
道新聞に掲載
されました。

今後とも
氏子の皆様
と共に先人
より受け継
がれた百二
十年の歩み
と祈りを大
切に進進し
て参りたく
存じます。



発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一
電話 〇一五・五七六・二四四八